

第 83 号 長野地区会ニュース

平成 30 年 6 月 7 日

発行 国臨協長野地区会

発行責任者 金子 司

編集責任者 古田 学

CONTENTS

- * 第 33 回国臨協関信支部長野地区会 研修会・定期総会のご案内
- * 新会員紹介
- * 編集後記

平成 29 年度第 33 回国臨協関信支部長野地区会

研修会・定期総会開催のご案内

場所：国立病院機構まつもと医療センター新管理棟 1 階会議室

日程：平成 30 年 6 月 23 日（土）

1) 13:00～受付

2) 13:15～15:20 研修会

講演 1 13:15～14:15

「ISO 15189 の概要と医療法の一部改正に向けて」

国立病院臨床検査技師協会 品質管理推進委員会 委員長

国立病院機構まつもと医療センター 臨床検査技師長

前澤 直樹先生

講演 2 14:20～15:20

「伝達事項ならびに会員の皆様に向けて」

国立病院機構関東信越グループ医療担当 臨床検査専門職

国立病院機構甲府病院 臨床検査技師長

北沢 敏男先生

3) 15:30 ～16:00 長野地区会定期総会

懇親会

会場：炉端浜焼 東京つきぢや 村井店 電話 0263-86-5005

時間：17 時～19 時（16 時 50 分にまつもと医療センターからバスが出ます）

会費：4,000 円

* 16 時から 16 時 45 分までの間は、病院見学会を予定しています。

新会員の紹介

まつもと医療センターに着任して



まつもと医療センター 前澤 直樹

この度、4月1日付で国立国際医療研究センター病院より、臨床検査技師長への昇任でまつもと医療センターに着任しました前澤直樹と申します。

長野地区会では、初めてお目にかかる方も沢山いらっしゃいますので簡単な自己紹介をさせていただきます。私は、今回の異動で6施設目となり(国立がん研究センター中央病院、千葉東病院、国立がん研究センター中央病院、国立がん研究センター東病院、国立国際医療研究センター病院、まつもと医療センター)、生まれて初めての単身生活を満喫しようと意気込んで参りましたが、現実には掃除、洗濯、食事の用意と慌ただしい一人暮らしをしています。それでも北アルプスを眺める素晴らしい景色には毎日癒されています。また、冬までにはゆとりのある生活リズムを作り、休日にはスキーを楽しみたいと思っています。どなたか近場で楽しいスキー場をご存知でしたら教えてください、さらに誘っていただけると幸いです。

さて、長野地区会の皆様は既にご存じのことと思いますが、5月1日に松本病院と中信病院が無事に統合され、新たにまつもと医療センターとしての総合診療が開始されました。採血室では、想定していた外来患者数を大きく上回りうれしい悲鳴をあげています。また、検体検査室では大幅な機器の入れ替えとそれに伴う試薬変更を行うためゴールデンウィークも返上して、日々妥当性の確認や性能評価に追われていましたが、一致団結した頼もしいスタッフのおかげで無事に終了し5月21日より新臨床検査科としてスタートいたします。今年度の総会は当院で開催されると聞いていますのでその際に施設見学もしていただけたらと思います。

最後になりますが長野地区会の皆様、新会員ですがどうぞよろしくお願いいたします。

信州上田医療センターに赴任して



信州上田医療センター 青木 悠太郎

4月1日付で、まつもと医療センターから血液主任として赴任しました青木悠太郎です。

よろしくお願いいたします。これまでは、一般職員として務めてまいりましたが、主任技師という立場となり、身が引き締まる思いでおります。技師長、副技師長、先輩主任から指導を受け、一般職員から学び、自分の役割を考え、業務に励みたいと考えております。数年ぶりの微生物検査担当ということで、当時を思い出しつつ、当院のルーチン検査を習得する為に勉強の毎日です。私は互いに信頼し尊重し合える関係を築き、安心して質の高い医療、情報を共有して納得できる医療、地域と連携して安心できる医療を提供し、医療の将来を見据えた健全な経営環境を目指すべく精一杯努めていきたいと考えております。

そして、長野地区会の皆様と共に成長していきたいと思っています。かさねてよろしくお願いいたします。

小諸高原病院へ赴任して



小諸高原病院 浅野 太貴

4月の人事異動にて東京都小平市の精神・神経医療研究センターより昇任で、小諸高原病院に参りました浅野 太貴です。私は現在、採血、検体検査、生理検査業務を担当しています。以前勤務していた病院と比較すると、電カルなどのシステムが整備されていないことから、人為的な入力ミスなどに注意が必要である事や、一人の技師が担当する検査の範囲が広いので、より高度な知識と技術が要求されていると感じました。

生理検査では認知症患者や重心患者が多いので検査自体が難しくまた時間を要し、そのため思ったよりもずっと忙しい検査室との印象ですが、自分なりに努力し充実した日々を過ごしています。

最近夕方から家の周囲でカエルの鳴き声が聞こえるようになりました。”畑”だと思っていた場所は、実は”田んぼ”だったようです。東京地区ではあまり感じることの出来ない自然と、季節の変化を肌で感じています。こちらの生活に慣れてきた頃、観光地なども巡りたいと思っており、おすすめの場所等があれば教えて頂けると幸いです。最後になりますが、このような挨拶の機会を頂きありがとうございました。主任としても新米ですが頑張ってお返ししたいと思いますので、皆様の暖かいご支援をお願い致します。

信州上田医療センターへ赴任して



信州上田医療センター 平原 学

この度、4月1日付で下総精神医療センターより信州上田医療センターに赴任致しました平原 学と申します。

出身は新潟で、寒さには多少なりとも慣れている筈だったのですが、上田に来たばかりの頃の朝の冷え込みには、7年間の千葉生活で緩んだ身と心にとっても堪えました。今から冬が心配でなりません、初めての単身赴任生活ですので、風邪をひかぬように体調管理をしっかりと健康に気を付けて生活したいと思います。

長野と言えば、私が最初に思い浮かべるのは温泉です。若かりし頃は幾度か温泉を目的に長野を訪れたこともあり、折角長野に赴任したのであれば、是非とも長野の温泉を色々巡っていきたいと思います。そして、共に温泉好きな妻と息子を上田に招いた時には、良い温泉を紹介出来たら良いなと思っています。

前施設では技師数は3人、検査件数も驚くほど少ない施設でしたが、こちらは技師数も検査件数も検査項目数も、ありとあらゆる面で桁違いすぎて、一か月経っても戸惑ってばかりです。ですが、周りの方たちの温かいサポートに助けて頂きながら日々業務に取り組んでおります。一日も早く業務を覚え、検査科の戦力となれるように、また、病院や患者様に貢献できるよう頑張ります。

長野地区会の皆様、これからお世話になりますが、ご指導の程、よろしくお願いいたします。

まつもと医療センターへ赴任して



まつもと医療センター 假屋 敦

平成 30 年 4 月 1 日付けで NHO 甲府病院より医化学主任として赴任いたしました假屋敦と申します。

山梨に家族を残し、単身赴任をしております。住み始めて 1 ヶ月経ちますが、4 月は風の強い日が多く古い賃貸に住んでいるため、窓は毎夜ガタガタすごい音をたて、冷たい隙間風で震える日々でした。しかし、長野県は信州そばをはじめとするグルメや、歴史的に有名なスポット、軽井沢、上高地といった魅力的な観光地も多く、休日はそれらを巡ってみたいと思っており楽しみにしています。

甲府病院では生理検査を中心に業務を行っておりましたが、この度検体検査の主任として業務を行うこととなり、検体フロアのスタッフの皆さんに色々教わり迷惑をかけながら、業務と勉強に明け暮れる毎日です。また、甲府病院に比べて病院の規模が大きく検査科スタッフ、患者数が多いためいかに業務を円滑に進められるかがとても大事だと感じました。もちろん、業務自体も 1 日も早く確実にこなせるようにしたいと思っています。

5 月に当院は中信松本病院と統合、検査科内では従量課金制度による機器の導入、中信松本病院からの機器の搬入と目まぐるしい変化があり、戸惑うことばかりですが大変良い経験をさせていただいております。また、検査室では ISO15189 の取得を目指しており、統合などが落ち着いたら本格的に取り組んでいくこととなっています。そのため、とても大変ではありますが、技師としてステップアップ出来るのではないかと考えております。

編集後記

鳥のさえずり・つつじの開花・・・吹くかぜもどことなく夏めいてきました。しかしまだ 6 月なのに、はや真夏を思わせるような日差しの強さも。

(すでにあつーいですね。)

突然ですが、「緑のさくら」って知っていますか？
当院では緑のさくらが咲きます。その名は「御衣黄（ギョイコウ）」。花は特徴的な緑黄色ですが次第に黄色からピンクへと変わっていく珍しい神秘的な桜です。
名前の由来は、花の色が貴族の衣装の萌黄色（もえぎいろ）に似ているので「御衣黄（ギョイコウ）」と言われており、そめいよしのより遅く 4 月下旬頃花を咲かせます。花言葉は「永遠優美」1 つの花で色々な顔を楽しませてくれます。

さて今回の地区会ニュースは 4 月に長野地区会に入会された方々の自己紹介文となっております。そろそろ施設にも仕事にも慣れてきた頃かと思います。これから十分長野の自然を楽しんでください。

